



安全衛生

あれこれ

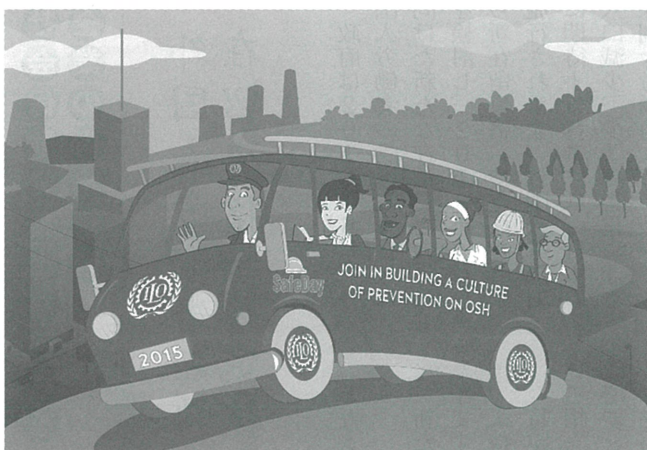
2

増田労働衛生コンサルタント事務所

所長 増田稔久

今月4月28日は何の日か、ご存知ですか？

ILO（国際労働機関）が定めた「労働安全衛生世界デー」(World Day for Safety and Health at Work)です。大正3



国際労働機関(ILO)ホームページ「2015年労働安全衛生世界デー」
「みんなで築く労働安全衛生の予防文化」アニメの一場面より

「包括的労働者補償法」が成立しました。この日をカナダが「犠牲者を追悼する記念日」と定め

労働安全衛生世界デー

たのが世界デーの由来です。平成14年にはILOが国連（ILOは国連の傘下機関）の国際デーとし、翌年「労働安全衛生世界デー」と名称を変え現在に至ります。我が国では7月に全国安全週間が行われるためか、あまり知られていないようです。

ILOは、労働災害による死者数は世界全体で年間230万人、負傷者は1億6千万人に達すると推定しています。信じられない人数です。世界デーもスローガンがあります。昨年は「若年労働者の安全と健康に投資を！」でした。若者の被災率は一般の1・4倍に上り「なぜ若者のリスクが高いのか？」をタイトルとした図解物語が制作されました。今年のスローガンの発表は4月に入ってからでしょう。

詳しくはILO駐日事務所のホームページを参照ください。

私が世界デーに興味を持ったのは、2015年のスローガン「みんなで築く労働安全衛生の予防文化」でした。同時に公開されたILOのアニメ(上記)が印象的で、ILOのバスに乗った「ILOの運転手、政府、経営者、労働者、安全コンサル、保険業のスタッフ」が災害ゼロを目指して軽快に走っています。安全の推進は6者で取組むのがグローバルなのだと思います。

ところで、世界デー発祥のカナダで、もう一つ災害防止に寄与したのが、安全啓発ビデオのネット発信です。もう公開されて10年になります。ご覧になったことはありませんか？

か？「カナダ保険局」で検索してください。日本語解説を追記したページもあります。ただ、ショットキングな映像ですので、気の弱い方は見ないでください！この他にも様々な啓発ビデオが世界中でアップされています。次はおスメの一例です。

■「Safety is a Daily Routine」(歩きスマホ等)
■「Why do we wear PPE」(保護具)
■「HEALTH AND SAFETY-WORKING AT HEIGHT VIDEO」(建設)

世界デーを契機として、海外ビデオも活用し、安全を語り合うのも意義あることではないでしょうか。

タイトル・浅井健史